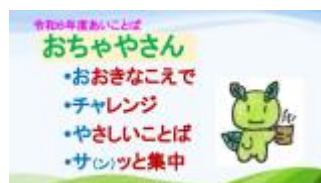


みどりの風



令和7年2月28日発行 No.18

校長 池田 誉

「心のバリアフリー」とは...

2月7日(金)にパラアイスホッケー元日本代表の上原大祐さんに来ていただき、「心のバリアフリーの授業」を行いました。この授業は、真庭市が毎年数校で実施しているもので、今回富原小学校で初めて行われました。

上原さんはトリノ、バンクーバー、平昌の3つのパラリンピックにパラアイスホッケー選手として出場し、2010年のバンクーバーでは銀メダルを獲得されています。

上原さんはとてもエネルギーあふれる方で、和やかな雰囲気の中で、障がいやパラスポーツについてわかりやすく話してくださいました。ご自身がバンクーバー冬季パラリンピック準決勝で得点を決め、体格差・実力差のある強豪カナダに勝ったエピソードも交え、「違いを楽しめる人であってほしい」「一度やってできなくても不可能だとあきらめずチャレンジしてみよう」など、多くのことを伝えてくださいました。その時の銀メダルを児童も一人一人首にかけさせてもらい、その重みを体感しました。

お話の後には、子どもたちもスポーツ用車いすに乗ってパラスポーツ体験をしました。グループごとに協力して車いすを組み立て、一人一人が乗って操作を体験しました。最初は難しい様子でしたが、すぐに慣れて動き回れるようになった子どもたち。車いすに乗っての鬼ごっこやポートボールを目いっぱい楽しみました。車いすに座ることで、1年生から6年生までの体格差がほぼなくなり、同じようにスポーツを楽しめるようになることは、新たな発見でした。

「心のバリアフリー」とは「様々な心身の特性や考え方を持つすべての人々が、相互に理解を深めようとコミュニケーションをとり、支え合うこと」と言われています。そのためには、障がいについて理解することはもちろん大切ですが、パラスポーツを思い切り楽しむ子どもたちの笑顔から、いろいろな人と一緒に楽しむ機会をもつことが、一番「心のバリアフリー」につながるのではないかと感じました。

遠く長野県から来てくださり、子どもたちに貴重なメッセージを伝えてくださった上原さん、この授業の実施に当たってご尽力いただいた真庭市スポーツ・文化振興課の方々に改めて感謝いたします。



学校保健委員会が開催されました

2月20日(木)に学校医の宮島美穂先生、学校歯科医の宮島郁夫先生、学校薬剤師の山本陽一先生においでいただき、令和6年度学校保健委員会が開かれました。

健康診断の結果や健康状態、体力テストの状況や取組について学校から報告した後、学校医・薬剤師の先生から指導・助言をいただきました。

今回は保護者の方の参加が少なく残念でしたが、活発な意見交流もできて有意義な会になりました。先生方からの指導・助言の内容は、「ほけんだより」に掲載されていますのでぜひご覧ください。



「令和の二宮金次郎賞」受賞！

JA晴れの国岡山真庭統括本部が、農業に興味をもち、家や学校で農業に積極的に取り組んでいる児童を表彰する「令和の二宮金次郎賞」を、このたび富原小学校全校児童に授与して下さることになり、2月25日(火)に表彰式が行われました。

この日は4名の方が来校され、渡辺JA真庭統括本部長より、表彰状と副賞の図書カードを児童代表に手渡してくださいました。また、児童一人一人に勝山女性部の方が新聞紙で作ったエコバッグ、雑誌「ちゃぐりん」、ボールペンをプレゼントしてくださいました。

これは富原小学校が長年にわたり、お茶、しいたけ、銀沫、こんにやくなど富原の特産物について、地域の方の協力を得ながら、体験を通して学習を積み重ねていることが評価されての受賞です。改めて富原には豊かな学びの素材があり、子どもたちがそのすばらしさを味わうことができていることをありがたく思います。これからも子どもたちが富原の農業について学び、大切にしていける活動に取り組んでいきたいと思っています。

